

生産性向上支援訓練カリキュラム

A. 品質保証・管理	品質管理の基礎知識を学び、QC7つ道具の活用方法を知ろう！
品質保証・管理手法	品質管理基本

コースの ねらい	品質管理の考え方を理解し、QC7つ道具を使って課題への対処ができる知識と技能を習得する。
-------------	--

対 象	(初任・中堅層向け) ・品質管理について学びたい方 ・QC7つ道具の使い方を理解したい方
-----	--

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)	
講 義 内 容	1	品質管理の考え方	(1) 品質管理とは【演習あり】 ・品質とは何か？また品質は工程で作り込むものであること。源流管理が重要であることを解説する。 (2) 品質管理と品質保証 ・品質管理(品質上の目標達成のための管理)と品質保証(品質を保証するための仕組み)の違いを解説する。 (3) 検査とは ・検査の目的と取り組みの重要ポイント、対象別検査の種類や各種検査方法を解説する。 (4) なぜなぜ分析【演習あり】 ・問題解決のためには問題の真の原因(真因)を見出すことが重要であり、なぜなぜ分析手法について解説する。	3.0
	2	QC7つ道具	(1) QC7つ道具と使い方【演習あり】 ・品質は事実に基づく分析が重要であり、数値データから読み解く7つの手法(QC7つ道具)の具体的な使い方を解説する。 (2) QC的問題解決の進め方 ・真因を見つけて根本的な再発防止を行うことで、より品質を安定化させてゆくために、確実な問題解決のためのステップを解説する。 (3) 研修振り返り 今回研修で品質に関して何が得られたか、今後自社でやるべきことややりたいことは何か、具体的にご自身がどう行動されるか決意をまとめ、発表いただく。	3.0
	演 習	ポイントごとに演習問題を行い、知識を演習を通じた理解に変える。 演習1:品質とは ある事例から、自分が考える品質とは？グループになって他の方の考え方を聞く等、品質のあるべき姿を考える。 演習2:なぜなぜ分析 事例を使って、グループになって具体的ななぜなぜ分析を体験してみる。 演習3:QC7つ道具実践 サンプルデータを使って、QC7つ道具を使った具体的な分析演習を行う。 (パレート図作成、特性要因図作成)	上記訓練 時間を含 む(3H)	
合計時間			6.0	

カリキュラム作成のポイント
初任～中堅層向けの品質管理講座として、品質とは？から始め、事実に基づく数値データを統計的品質管理手法(QC7つ道具)を理解して頂く。また、真の原因(真因究明)が重要であることをなぜなぜ分析を通して学んで頂く。 品質データをQC7つ道具を用いて分析することを実践して頂き、品質改善のポイントを明らかにして頂く。それらを身に付けるため、グループ演習を多く取り入れ、自らの気づきだけでなく、他の方からの刺激を感じてもらい、実りある訓練内容とした。

備考
電卓、筆記具